



2023年4月10日
京都モダン建築祭実行委員会

＜文化庁京都移転記念事業＞
2023年11月2～12日「京都モダン建築祭」期間・エリアを拡大して開催
～サポーター&パートナーを募集、オフィシャルクラブも発足～

京都モダン建築祭実行委員会および京都市では、京都に現存するモダン建築を一斉公開する「京都モダン建築祭」を、昨年に続き、今秋に開催します。文化庁京都移転記念事業として、京都を舞台に、京都市と民間団体が連携して2022年に初開催し、のべ約3万人が見学した建築一斉公開イベントです。

2023年は、期間とエリアを拡大し、参加機会のさらなる拡充を図ります。また、資金調達の一助として、新たにサポーター&パートナーの募集を開始。民間連携によるオフィシャルクラブも発足いたします。



今年のポイント・主な変更点

- ◆期間は3日間から、週末2回を含む11日間に
- ◆昨年の中京・御所西・岡崎3エリアから、より広域に展開
- ◆新たに、京都駅・七条、五条・河原町、北大路、衣笠・北野、西陣等へエリア拡大
- ◆チケット種別の多様化
- ◆オンライン事前予約や抽選等のしくみを導入
- ◆個人サポーター&企業・団体パートナーの寄付・協賛を呼びかけ
- ◆民間連携によるオフィシャルクラブ発足

1. 2023年京都モダン建築祭の開催について

(1)開催期間 2023年11月2日(木)～11月12日(日)11日間

※ 一斉公開日11月2日(木)～4日(土)、10日(金)～12日(日)の計6日間

※ 11月5日(日)～11月9日(木)の期間はガイドツアーや各種企画を実施予定

※ 各建築により公開日時等が異なります。詳細は7月以降、公式サイトに掲載予定

(2)主催者等

主催 京都モダン建築祭実行委員会

共催 京都市

(3)開催エリア(予定)

継続:中京、御所西、岡崎、その他

新規:京都駅・七条、五条・河原町、北大路、西陣、衣笠・北野 ※エリア名は仮称です

(4)参加方法

2023年9月初旬から公式サイトで発売予定のパスポート(価格調整中)を購入の上、ご参加いただきます。 ※ 詳細は、適宜公式サイトで御確認ください。

(5)今後の予定

2023年7月初旬 参加建築や公開情報の詳細をリリース

2023年9月初旬 パスポート発売開始

2. サポーター(個人寄付)&パートナー(企業・団体協賛)募集開始について

資金調達のため、協賛・寄付の募集を開始しました。個人の方(サポーター)からのご寄付は3,000円から、企業・団体(パートナー)からのご協賛は100,000円から受け付けております。いただいたお金は、京都モダン建築祭の実施・運営のために大切にに使わせていただきます。皆さまの応援と温かいご支援を心よりお待ちしております。

公式サイト「個人寄付、企業・団体協賛のお願い」について

<https://kenchikusai.jp/#support>

3. オフィシャルクラブ発足について

2023年5月より、建築祭オフィシャルクラブがスタートします。月2回のライブ配信と随時開催のメンバー限定リアルイベントを実施。非公開建築を訪れるガイドツアーや限定公開イベントも。全国どこからでも、誰でも参加できます。1ヶ月単位で入退会自由(主催:まいまい京都)。

【京都モダン建築祭】オフィシャルクラブ(外部サイト)

<https://www.maimai-kyoto.jp/event/xx99b020/>

■お問合せ・取材連絡先



京都モダン建築祭実行委員会 事務局(藤井・谷口・岡元)

京都市右京区太秦中山町29 (一財)京都ユースホステル協会 内 まいまい京都

e-mail contact@kenchikusai.jp

公式サイト <https://kenchikusai.jp>

Twitter <https://twitter.com/kenchikusai>

Instagram <https://www.instagram.com/kenchikusai/>

* メール受信がエラーになる事象が発生しております。

大変恐れ入りますが万が一上記メールアドレスへの送信が出来ない、7日以内に返事がない場合はWEBサイト内お問合せフォームからご連絡をお願いいたします。

■京都モダン建築祭お問合せフォームURL: <https://kenchikusai.jp/contact/>

【参考1】京都モダン建築祭実行委員会について

- ・実行委員長 笠原一人(京都工芸繊維大学 助教)
- ・実行委員 倉方俊輔(大阪公立大学 教授)
濱崎麻智(京都市観光協会 担当部長)
前田尚武(京都市京セラ美術館 企画推進ディレクター)
山口壮八(京都市文化市民局文化芸術都市推進室 文化財担当部長)
以倉敬之(まいまい京都 代表)
- ・監事 恵良陽一(京都市産業観光局観光 MICE 推進室 観光誘客誘致課長)
高田光治(京都ユースホステル協会 専務理事)
- ・アドバイザー 石川 祐一(京都市文化市民局 文化芸術都市推進室 文化財保護課)
- ・事務局 まいまい京都

【参考2】「京都モダン建築祭」とは

近現代に建てられたモダン建築の数々は、街の記憶を雄弁に物語る生きた証人です。近代以降、戦争や震災の被害が少なかった京都には、モダン建築が数多く現存しています。

2021年、京都市京セラ美術館で開催された「モダン建築の京都」展は、これまでまとまって語られることの少なかった京都のモダン建築に光を当て、資料展示にとどまらない横断的な連携によって、京都のモダン建築に実際に触れる豊かな体験の機会となりました。

「京都モダン建築祭」は、京都に現存する建物や営みが“生きた文化財”として受け継がれ、時代にふさわしい形で共に未来に進んでいく一助となっていきたいという願いをもって、京都市と民間団体が連携した初めての建築の祭典としてスタートしました。

初開催となった2022年の参加建築数は36件。建築一斉公開イベントでは全国でも珍しい有料パスポート方式を導入し、参加費の一部を建築の保存・保全に還元しました。2年目となる2023年は、初年度の課題解決と内容の拡充をはかり、市内各所で開催します。「京都モダン建築祭」は、建築を通じて京都の新たな魅力を発見する恒例イベントとなり、多彩な人々とまちをつなぐ風物詩になることを目指しています。